

第1学年 総合的な探究の時間～12月～

ねらい：言語学への招待～伝わるとは何か～

本日のTODO

- ・なぜ正しく伝わらないのか？
- 「シニフィアン」と「シニフィエ」

「伝えた」と「伝わった」は大きく違う。

日常生活において、「伝えた」と思っても「伝わっていない」ことはありませんか？そのことを、本日は「三角の上に丸を書く」というワークをおして体験し、実感する試みを行いました。最後には、「どうすれば伝わったんだろう？」と振り返り、「指示書」という形でまとめました。

伝わるとは何か？ 言語学への招待

①なぜ正しく伝「わらない」のか ②シニフィアンとシニフィエ

なぜ正しく伝「わらない」のか

ワーク1 プリント右側の枠内の課題をやってみよう

ワーク2 なぜ人によって、描く形がバラバラなのか考えてみよう

伝わり方が違うから

シニフィアンとシニフィエ

ソシュール…スイス生まれの言語学者 ドイツ語、英語、ラテン語、ギリシア語が話せたそう

→言葉のもたらす効果を考察

(シニフィアン) (Signifiant / 記号表現) …音のイメージ(音声)や文字の形(テキスト)そのもの

例: 日本語の「いぬ」という音、または「犬」という文字の形

(シニフィエ) (Signifié / 記号内容) …そのシニフィアンによって喚起される概念、意味。

例: 四足で尻尾があり、「ワン」と鳴くあの動物の概念。

言葉に2つの側面があることで、正確に伝わらない！！！

志意性: あるシニフィアン(例: 「Dog」という音)と、それが示すシニフィエ(例: 犬の概念)の間には、(必然的な結びつきはない)

→特定のシニフィアンが特定のシニフィエを結びつけるのが、社会的な(習慣)や(歴史)にすぎないためです。

曖昧さの発生: 文字(シニフィアン)だけの指示では、聞き手は、社会で共有されているはずの「概念(シニフィエ)」を、

各自の(経験)や文脈に基づいて(再構築)しようとします。

→「三角形」は「正三角形」かもしれないし、「直角二等辺三角形」かも、△かも

→文字だけでは、概念の多様性を制御できないのです。

ワーク3 文字(シニフィアン)だけの指示で志意性・曖昧さを減らすにはどうしたら良いか？

①プリント右のお題の絵を、隣の席の人に書いてもらいます。指示書に何を書いていたら良いか書いてみよう(3分)

②隣の席の人に、指示書を渡してください。受け取った人は、その指示書をもとに、絵を描いてみよう(3分)

③お互い、絵を見比べてみよう。(3分) 似お互いのお題の絵は見ちゃいけない

④【重要】 指示書のどこを書き換えれば正しくできたか、赤字で訂正してみよう。(5分)

⑤修正された指示書をもとに、最後書いてもらおう。

⑥答え合わせ

今日の授業を聞いて感想や考えたことを書いてください。特に不思議に思ったこと、興味深いと思ったことを教えてください。

(A:3行以上 B:2行以上 C:1行以上)

自分が思う「上に描く」と相手が思う「上に描く」が違うだけでまたたく間に描かれてしまった。相手にどうしたら自分が思う「上に描く」が伝わるか、言葉を変えて

また別の発想につながってしまった、難しいと思った。

指示書

おたがいすこし 間をあけ,
ま、真ん中に同じ大きさの丸を横にならぶように書いくことだ"さー,

その書いた丸たで「真ん中にきている丸の上にあこしだけ 間を

あけた、△等辺三角形を書いくことだ"さー,

そして、その丸の下に底辺が丸についている主さまの△等辺三角形

を書いくことだ"さー,

「真ん中の丸だけに」

今日の探究学習を通じて、2学年に予定している「プレゼンテーション」にもつながれば嬉しいです。

伝える、伝わることの難しさを学びました。